

通学区域に関する意見交換会 実施結果

1 目的

鶴ヶ島市立小・中学校学区審議会条例第1条の規定に基づき、通学区域等の見直しにあたり、事前に関係する地域住民の意向を充分把握し、その意向に配慮した答申を行うことを目的として、関係自治会等を対象とした「通学区域に関する意見交換会」を実施する。

2 主催

鶴ヶ島市立小・中学校学区審議会

3 開催日時

第1回 令和4年6月19日（日）午前10時から

第2回 令和4年6月22日（水）午後7時から

4 会場

南市民センター

5 対象者

鶴ヶ島第二小学校から南中学校に進学する地域（以下「対象地域」という。）の住民及び関係自治会（鶴ヶ丘第二、鶴ヶ丘第六、松ヶ丘）

6 出席者数

第1回 18人

第2回 0人

7 意見交換会での主な意見及び質疑

(1) 主な意見

- ・私自身も鶴ヶ島第二小学校から南中学校に進学した。友達の中にいじめを受けた人もいた。鶴ヶ島第二小学校からの進学者は少人数であることから、いじめなどのリスクがある。リスクを考えただけで、通学区域について検討してほしい。保護者としては、鶴ヶ島第二小学校の卒業生は、全員同じ中学校へ進学してほしいと思う。子どもが二人いるが、子どもも同じ意見だった。
- ・私も鶴ヶ島第二小学校から南中学校に進学した。鶴ヶ島第二小学校から進学した一人の女の子が、いじめを受け登校拒否になった。いじめが心配である。娘は小学校1年生から藤中学校へ進学したいと言っている。学区が変更になれば、いじめのリスクも少なくなる。変更を検討してほしい。
- ・引越ししてきて、南中学校への進学者が少なくて衝撃を受けた。小学校1年生の娘がいるが、藤中学校に進学したいと言っている。また、進学後も進学先について、アンケートなどで生徒の意向を確認するなどしてほしい。
- ・私は小学生の時に、県道から向こうに行ったことがなかった。友達も上広谷に多かった。行動範囲が違うので、南中学校に通学することが不安だった。私は引越しした感覚だった。子どもに同じような経験をさせるのは酷だと思う。

(2) 質疑

- ・鶴ヶ島第二小学校から南中学校に進学することになったきっかけは。

<事務局>

元々藤中学校の通学区域であったが、南中学校の開校に伴い、学校規模の検討をした上で、鶴ヶ島第二小学校の一部から南中学校に進学することになった。

- ・藤中学校に通学している生徒でも南中学校の方が近い生徒もいる。そういった生徒を南中学校に通学させる考えはないのか。

<事務局>

教育委員会の基本的な考え方は、「一つの小学校の卒業生が全員同じ中学校に通学する通学区域」としている。鶴ヶ島第二小学校では、一部の児童のみが南中学校に進学する状況であることから、今回の審議会に諮問することとした。

- ・部活動を理由に、南中学校ではなく、藤中学校に進学している生徒はいるのか。

<事務局>

部活動を理由に、進学先の変更は認めていない。

- ・私が小学生の頃は、小学校同士で交流会があった。南小学校と鶴ヶ島第二小学校では、交流がなかったので、南中学校に進学した時にはじめて会った人ばかりだった。小学校同士の交流会はあるのか。

<事務局>

本市では、小中連携教育は進んでいる。特に南小・中学校では、学校が隣接しているので交流が進んでいる。一方で、鶴ヶ島第二小学校との交流は難しい状況である。鶴ヶ島第二小学校から進学した生徒は、はじめて会う生徒ばかりで、南小学校から進学する児童と状況が異なる。今回の審議会では、そういったことも含めて検討したい。

- ・通学区域を変更する場合には移行期間を設けるのか。

<事務局>

変更することが決まったら、令和5年度から実施できるように準備を進めている。変更する場合には、経過措置や弾力的運用な

どの検討も必要だと考えている。

- ・今回通学区域が変更になった場合、10年間は変更ないのか。

<事務局>

10年間変更なしということではない。状況に応じて対応したい。

- ・10年間を経過せずに、再度学区を変更した場合、通学している子どもが学区変更によって、転校する場合もあるのか。

<事務局>

弾力的に、藤中学校に通学している生徒は、卒業まで藤中学校に通学できる、兄弟がいる場合には、兄弟は藤中学校への進学を認めるなどの対応について、これまでの経過を含めて検討する必要があると考えている。子どもたちの不利益にならないように検討していきたい。

- ・南中学校から藤中学校へ通学区域が変更になった場合、通学路の整備計画はあるのか。

<事務局>

市では、都市計画道路共栄鶴ヶ丘線の整備に着手している。また、通学路整備計画をつくり、整備するとしている。必要な整備は、関係課と調整し進めたい。

- ・藤中学校に通学区域が変更になった場合でも、徒歩通学を想定しているのか。

<事務局>

徒歩を想定している。

- ・鶴ヶ島第二小学校がなくなるとの話聞いたが本当か。

<事務局>

学校再編の計画があり、鶴ヶ島第二小学校と藤小学校を令和23年度に再編し、藤小学校の学校施設を有効活用する予定である。南小・中学校は、小中一貫教育校として再編する計画である。5年ごとに計画の見直しを図ることとしている。

- ・児童にアンケート調査をしているが、これからの審議会の中で、児童の意向はどれほどのウェートを占めると考えているか。

<事務局>

大きなウェートを占めると考える。

- ・今回のアンケート調査結果からは、通学区域は変更の可能性が高いと考えてよいか。

<事務局>

前回の審議会とは、大きく意見結果が変わっていると認識している。審議会ですっかり審議いただく。

8 その他

当日出席できないため事務局（学校教育課）へメールにて意見があった。

- ・鶴ヶ島第二小学校から南中学校に行く地域に住んでいて、子どもは高校生と中学生。高校生の子が中学に進むとき、「市長の部屋」（市のホームページ）に意見を聞いたら、以前アンケートをとって、今の通学区域のままとなったとのこと。一貫教育のモデル校になっている南中学校に行く子達の気持ちを想像してほしい。学校説明会で一貫教育なんて説明受けてもピンとこない。学校説明会での第二小学校の子達の緊張感。どうぞよりそって考えてみてください。